

不二製油グループ ～水資源保全の取り組み～

2023年2月20日
不二製油グループ本社 CEO補佐 河口真理子

不二製油グループ ご紹介



B to B の食品中間素材メーカー

植物性油脂事業



食用加工油脂 チョコレート用油脂

業務用チョコレート事業



チョコレート

乳化・発酵素材事業



クリーム マーガリン フライング

大豆加工素材事業



大豆たん白素材

機能剤

食品メーカーなど

- ・飲料メーカー
- ・製菓メーカー
- ・製パンメーカー
- ・リテール
- ・外食チェーン
- ・学校給食

etc.



生産会社(連結会社) 12か国 20社

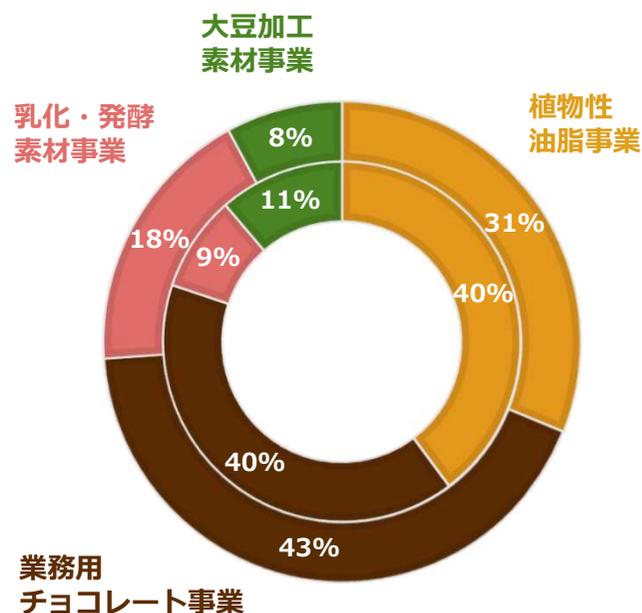
不二製油グループ ご紹介

2021年度実績

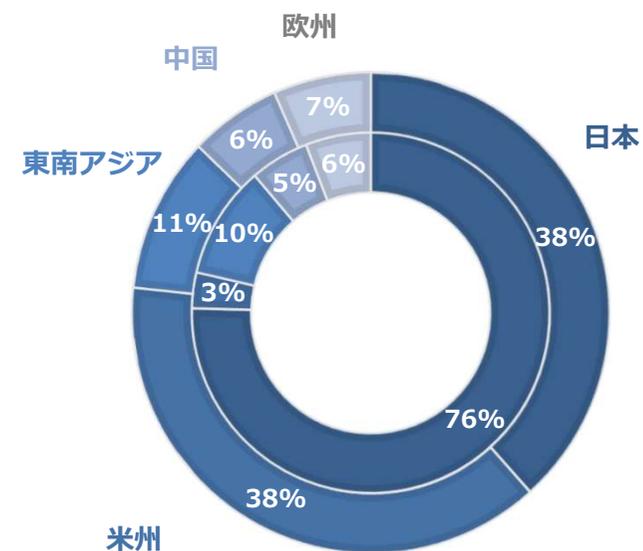
外側：売上高 **4,338億円**

内側：営業利益 **150億円**

事業セグメント別実績



エリア別実績



*グループ管理費用・連結調整は含んでいません

主原料サステナブル調達への推進と社会からの評価

CDPは、投資家に向けてサステナブル情報開示を要請する国際NGO



主原料を取り巻く人権や環境などの社会課題



2020年2021年：トリプルA評価
3分野対象（気候変動、森林、水）
世界12000社中14社
2022年：ダブルA評価（森林、水）



世界のトップ7%
サプライヤー・エンゲージメント評価で
最高評価「リーダーボード」に選出
評価対象 5,640社中約400社
(2021年2月)



第22回 グリーン購入大賞
大賞・農林水産大臣賞受賞
(2021年11月)

企業活動に求められる水資源保全・セキュリティとは？

●水資源の利用

- 自社サイトにおける水使用量の削減
- バリューチェーンにおける水使用管理と低減

●水が原因となるリスク管理

- 自社サイトのリスク
- バリューチェーンにおけるリスク低減と機会の創出

「不二製油グループ環境ビジョン2030」における主要KPI

1. CO2排出の削減（基準年：2016年）

Scope1 + 2 総量40%削減

Scope3（カテゴリ1） 総量18%削減

2. 水使用量の削減（基準年：2016年）

原単位で20%削減

3. 廃棄物量の削減（基準年：2016年）

原単位で10%削減

4. 資源リサイクル

再資源化率99.8%以上を維持（国内グループ会社）

不二グループサイトでの水使用量動向

環境ビジョン2030 (基準年:2016年、目標年2030)		2021年実績	達成率	前年度からの変化
水使用量の削減 (グループ全体)	原単位で20%削減=2.28	2.15↓	124%	3ポイント好転



- 原単位では着実に減少傾向。
- 2020年度に目標を達成。
- 2021年度は更に削減を達成

不二グループ 水資源使用削減の体制と取り組み

グループ管理体制

- オンライン環境監査を通じて、環境ビジョン2030や節水の考え方を各生産拠点と共有。
- 環境データ収集システムによるタイムリーな情報収集と分析に基づく削減活動。



各拠点での取り組み事例

- 日本国内
 - 生産設備の洗浄方法の見直しで洗浄水を削減。(不二製油(株)の関東工場や(株)エフアンドエフ)
 - 不二製油(株)の千葉工場では生産ラインの稼働率上昇により生産設備の洗浄回数が減少
- 海外
 - 不二製油(張家港)有限公司(中国)では蒸気の濃縮水を消火用水として再利用
 - フレイアバディ インドタマ(インドネシア)、フジオイル(タイランド)、不二製油(肇慶)有限公司(中国)では生産工程中の漏水箇所を修繕。

バリューチェーン上一般的に想定される水リスクとは

上流における水リスク

- 原材料(農産物)生産段階
 - 気象災害: 洪水リスク・干ばつリスクによる収量減
 - 農産物のウォーターフットプリントの削減
 - 農薬・化学肥料による土壌汚染・水質汚濁

下流における水リスク

- 製品のウォーターフットプリント
- 製品利用段階の水使用

不二グループのバリューチェーンと水リスク: 少しずつ取り組みを始めました

農薬・化学肥料による土壌汚染・水質汚濁

- ・ 2016年より、マレーシア・サバ州において、NGO Wild Asiaとの協働で、小規模農家に対するRSPO取得支援(RSPO取得累計703軒)
- ・ 2020年から、有機農法を取り入れた持続可能な農業を支援。化学肥料や農薬の使用低減は、川汚染の防止や水流に沿った植物の保全および地域の水資源の保全に資する。累計20軒がBIO FARM認定(2022.5)

サプライヤーの水管理

- ・ 不二製油グループ「サプライヤー行動規範」(2021年4月)の中で、サプライヤーに対して、水資源有限性と水資源管理、水質汚染防止を明記し、周知。

製品のウォーターフットプリントの試算

- ・ 大豆(脱脂大豆)*1kg生産に必要な水使用量(バーチャルウォーター)を試算
 - ・ 牛肉1kgの17%、豚肉の61%、鶏肉の79%

*一般的な大豆ミート(脱脂大豆原料)の粒状大豆たんぱくの場合

*丸大豆から脱脂大豆への歩留まりを70%とした場合

「来所を知る」「おかげ様のこころ」

ご清聴ありがとうございました